

交渉速報 (要旨) 申24号「2023年度冬期検証に関する申し入れ」②

5. 始発までホームの除雪を徹底すること。

●会社回答：ホーム除雪については、委託・臨時雇用・直轄により必要な対応を行っていく。

組合→降車するお客さまが苦慮している。ご指摘もある。両数分の除雪を要求する。

会社→4時、5時から除雪を行っている。始発までに2両分を除雪するという使命がある。

組合→今後の課題についてはどうか？

会社→「作業指定日」の検討がある。臨時発注のタイミングや契約内容の検討。どれくらいの積雪で発注を行うか勉強していきたい。降積雪予報の精度を上げていく。

組合→「作業指定日」について関係社員への共有はできないのか？

会社→情報についてクローズしている訳ではない。乗務員への共有を含めて意見として検討する。

6. 越後線柏崎～吉田間において発生した架線凍結による集電不良に対する対策と課題を明らかにすること。

●会社回答：2024年度冬期の取り組みについて検討を行っているところである。

組合→具体的な検討はどうか？

会社→トロリ線へ塗油継続と過熱装置の時間延長・加熱温度の調整を検討している。新たな取り組みとしてカッターパン導入ができるか検討。塗油については効果が発揮できる時機に行ったので年1回に切り替えた。

組合→運行不能の件数は把握しているか？

会社→7件発生している。トロリ線過熱をしても運行不能となったのは5件である。

組合→トロリ線過熱や塗油に変わる対策が必要であると考えるが？

会社→問題意識を持って勉強していく。

7. 2024年2月17日(土) 臨回電、回9121Mと回9122Mを運行させた理由を明らかにすること。

●会社回答：気象情報を考慮し、臨時回送電車を運行させたところである。

会社→集電不良を防ぐためである。お客さまからのご意見があった。気象条件等を勘案して今回初めて運行させた。

組合→効果はあったのか？誰の発案なのか？今後、他線区でも拡大していくのか？

会社→指令・新潟運輸区・支社(モビサ兼務社員)の発案で行った。効果については検証中である。

組合→定期行路を変行路としての運用であったので継続乗務時間が多くなる。臨行路での対応を求める。

会社→手配の仕方についても検討していく。

8. 羽越線羽前大山～羽前水沢間下興屋踏切における消雪設備の復旧を行うこと。

●会社回答：下興屋踏切については、消雪装置の改良を検討しているところである。

会社→以前から交渉を行ってきており予算が付いた。9月下旬から工事を行う。

組合→どのような設備になるのか？

会社→現行は踏切内のレール側への散水であったが、車道側の雪に散水する方法に変更する。

組合→これまで労使で議論してきたことであり、改善されることで了解した。

要求実現!

暖冬小雪だからと油断せず、お客さま・社員が安心してご利用・業務ができる冬期体制を確立しよう!